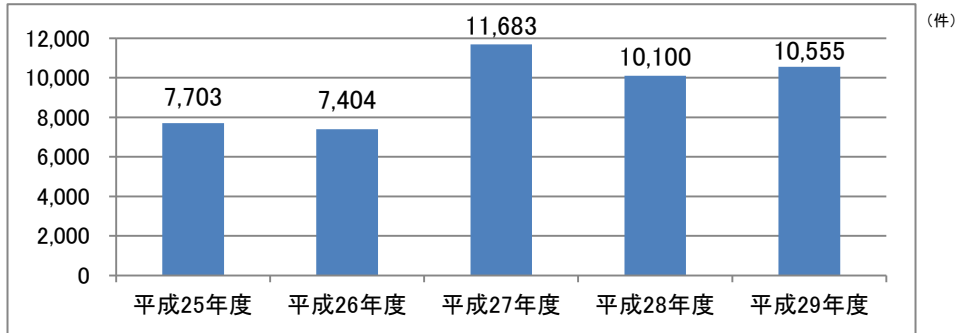


## 21 無菌製剤処理料算定件数

### ○項目の解説

がん化学療法や特別な栄養管理に使われる注射薬の準備には、滅菌された環境(クリーンベンチ)と経験が豊富な薬剤師が必要です。適切な無菌管理による高度な薬物治療を提供していることを表現する指標です。

### ○当院の実績



### ○当院の自己点検評価

【現状】薬剤部では、国立大学病院の中で初めて「注射薬混合調製センター」を立ち上げ、無菌製剤処理料の算定有無にかかわらず、200mL以上の注射薬の混合調製を行っています。近年は主に栄養を目的とした輸液の調製件数は減少傾向にありますが、がん治療のための抗がん剤調製は入院・外来ともに増加傾向にあり、総合的な件数としては横ばいとなっています。依然として当院における無菌調製件数は、無菌製剤処理料の算定外も含めると、国立大学病院の中でトップクラスとなっています。

【今後】薬剤師による無菌調製は、感染対策の面はもちろんのこと、病棟における調製に関わる負担低減においても高い評価を受けています。さらに、抗がん剤の無菌調製に関しては、休日時間外を含め薬剤師による24時間対応オンコールとしており、レジメンに基づいた投与量や投与スケジュールの確認はもちろんのこと、調製時の医療従事者への曝露を防ぐための体制を取っています。今後もこの体制を維持し、最適な医療に貢献したいと考えています。

### ○定義

医科診療報酬点数表における、「GO20無菌製剤処理料(1)(2)」の算定件数です。

入院診療と外来診療の合計です。

### ○算式

実数